

を以つて組織労働者の約八割を占め其の運動方針亦労働組合主義に據り日常労働協力に依る産業平和を標榜しつゝあり。即ち當地方に於ける労働運動の中心地とも謂ふべき八幡市に於て本年八月日本製鐵従業員組合の結成さるゝに當り政黨政派に超越して純然たる労働者の經濟團體たるの任務を特に宣言したるが如きは其の一例であり、其他各組合大會に於て常に確實なる労働組合主義を強調するの狀態である。

而して本年數回に亘り協調會主催を以つて福岡地方に於ける勞資懇談會を開催するや進んで之に参加し右製労働組合の立場を明にすると共に組合主義に基く勞資協調を主張してゐるのである。或は亦製鐵所を中心其の勞務擔任當局と警察、市當局等とを加へ組合關係者との懇談會開催を自

から主催（昭和八年九月五日八幡市に開催）して意見を交換するが如き平素努めて勞資間の理解に資せんとするの行動に出でつゝあることは等しく注目すべき傾向である。

①、日本主義労働組合の擡頭

日本産業労働協進組合 昭和七年十一月十三日の年次大會に於て綱領主張を改め當時漸やく事なきを得た日本製鐵労働組合聯合會内部の刷新運動は、依然として刷新派の満足するところとならず本年に入り相次いで生じた會長今岡與市氏の死亡、八幡市議戦の惨敗、鐵聯、同志會の合同説等の内部的混亂状態は、右刷新運動に更に拍車を加へて其の一派の鐵聯脱退となり、遂に八月八日神野信一氏の日本主義労働運動と相提携する日本産業労働協進組合が製鐵所内一部従業員を以て結成されたのである、爾來組合の擴大に